



こさち西松 幸子

質 問  
QUESTION

## 住民の福祉、くらし優先の予算編成と「子育て支援」の拡充を

回 答  
ANSWER

## 保育環境の充実につとめます

[町長]

安倍政権は、介護制度の切り下げや医療費の負担増など国民が最も切望する社会保障の多くの分野で施策を後退させ、こうした政治に自治体がどう立ち向かうかが問われています。新年度予算の編成作業について、3点伺います。

質 問

町長の基本的姿勢はいかなるものですか。住民が望む福祉とくらし、教育などの施策の充実はどう臨まれますか。

回 答

財政状況は極めて厳しく、新年

こども園に移行することで、円滑に進むように体制の整備が必要と考えています。

質 問

「少子化」や「人口減少」対策として「子どもの医療費助成」を高校生世代まで拡大すべきと毎年提案し続けています。早急を実現すべきと考えますがいかがですか。

回 答

移住、定住対策などと総合的に検討します。

質 問

「人口減少」対策としての「移住や定住」につながる新たな施策はお考えですか。

回 答

これまでの施策を継続し、特に雇用の場を確保することが、移住、定住に大きな効果が期待できると思っております。引き続き企業誘致を最優先に進めていきます。

再質問

財政状況が厳しいところで

すが、もつと斬新な発想のもとに移住、定住につながる医療費助成を拡大すべきです。近隣市町は実施しています。町民の皆さんからいつになったら実現するのかと厳しい声を聞きます。子育て世帯は支援の手厚い他市町村へ定住を考えるのではないですか。

回 答

健全化判断比率が悪化しないように財源を確保し、実際にできるように検討していきます。

質 問  
QUESTION

## ひきこもりの支援は

回 答  
ANSWER

## 相談日や相談専用ダイヤルを設けています

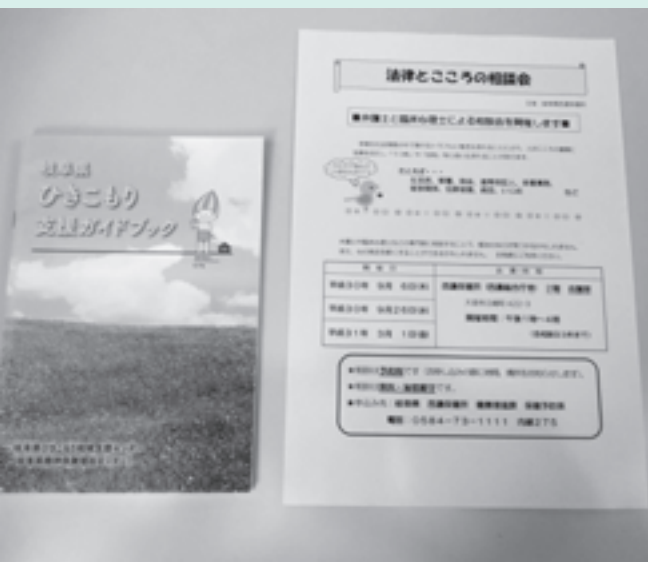
「福祉課長」

質 問

ひきこもりの人は全国で100万人いるともいわれ、大きな社会問題となっています。当事者や家族はいろいろどこに相談したいどこに相談したいか分からない状態が続いているのではないのでしょうか。

回 答

当町の取り組みとして臨床心理士による「こころの相談日」を毎月第1月曜日に開催し、「こころの相談専用ダイヤル」を保健センター内に設けて随時受け付けています。また、家族の方の意向があれば、行政としても支援していきます。



岐阜県ひきこもり支援ガイドブック